

学校教育目標	自ら学ぶ意欲にあふれた児童の育成 — かしこく やさしく しなやかに —	経営理念	【ミッション】「知・徳・体」のバランスの取れた児童の育成 【ビジョン】小規模校の良さを生かし、児童の力を最大限に伸ばす学校 ○児童の夢と希望を育む学校 ○あいさつの声が響く学校 ○教育環境の整った学校 ○保護者や地域と連携する学校
--------	---	------	--

評価計画						自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方策		
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	2月						
確かな学力	1	◎めあてに対する自己の学習を振り返る力を身に付ける。 ◎言葉正しく豊かな表現力を身に付けている。 ◎標準学力テスト全国平均を超える。	◎自己の学習理解について正しく振り返り、習熟問題に挑戦している。	・めあてとまとめの整合性を図り、振り返りが次時のめあてにつながる授業づくりと評価との連動。 ・上小授業モデルの徹底、習熟問題の時間確保。	★単元末テストの予想平均点を超える児童	80%	80.2%	100.25%	3	・単元末テスト予想平均点を超える児童80.2% ・上小授業モデルの徹底と、研究主題に沿った授業研究を進めていく。 ・復習プリントに何度も取り組ませる。				
			◎語彙数を増やし、場に応じた使い方を身に付けている。 ◎標準学力テスト全国平均を超える。	・各教科における教科書の音読の鍛錬。 ・読み聞かせ・話し方練習の習慣 ・全校で取組む「学び残しゼロ」。	★標準学力テスト全国平均以上の児童	75%			3	・授業での音読の鍛錬をしている。 ・担任以外の先生の読み聞かせを行い、読書の幅を広げることができた。 ・本の貸し出しを3冊にしたことで、読書量を増やすことができた。 ・標準学力テストは12月実施予定。昨年度の分析結果を指導に生かして対策する。				
豊かな心	2	◎振り返る力を基盤とし、自己決定する力を身に付け、自己肯定感を高めている。	○自己を見つめ振り返る力を付け、現状を踏まえた自己目標をもつことができる。	・教師力による学習規律の徹底。(チャイムであいさつ、整った学習環境)	★肯定的評価 児童アンケート 教職員アンケート	90%	88.4%	98.2%	2	・ほとんどの児童がベル着を意識して行動できていた。教職員も日頃からチャイムを意識して授業を行っている成果が表れていると考える。				
			○課題に対する自己決定力を高め、自己肯定感を高める。	・積極的な生徒指導(事実を正しく振り返り、失敗を学びへと導く指導、「聞かせる」前に、「聞くこと」を基本とする。)	★自己肯定感に係る児童アンケート 肯定的評価	90%	88.0%	97.0%	2	・自分の良さに気付いていない児童が約12%いることから、肯定的評価を受ける機会が少ないと考えられる。				
健やかな体	3	◎健康でバランスの取れた体づくり	○学年重点項目を6年間でできるようにする。	・朝の会や体育の時間等を活用して、年間を通して継続的に取り組む。	★低…バービー運動5回以上/15秒 中…かえるの足打ち1回以上、ブリッジ5秒以上 高…かえる倒立5秒以上、補助倒立5秒以上	80%	低 100% 中 100% 高 83%	104%	4	・全学年で継続的に取り組んでいる。 ・高学年になるにつれて、技が難しくなっている。				
			○基本的な生活習慣の定着を図る。	・家庭連携とともに、具体的に必要な睡眠時間を示した上で個別の実態に合わせた学級指導・助言を行う。その際、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの定着を図り、定期的「上小っ子の生活カード」をもとに指導する。	★児童の定着率「早寝・早起き・朝ごはん」	85%	90%	106%	4	・保健だより・保健指導により、くりかえし呼びかけたことにより成果があったと思われる。早寝早起きが85%と、課題のある児童がいる。				
信頼される学校	4	◎校長を中心とした学校経営を行い、地域に信頼され、地域に貢献する学校づくりを推進する。	○学校の教育活動に対する保護者の理解や満足度の向上を図る。	・報連相の徹底と地域・保護者への迅速な対応。	★学校だより発行、ホームページ更新	月1回 月2回	月1回 月2回	100%	3	・学校だより月1回、HPの更新月2回を行うことができた。 ・保護者等からの声にはすぐに学校長に報連相を行い、迅速な対応に努めた。				
			○児童とよりよく向き合う時間を確保する。 ○コミュニティ・スクールとして学校運営協議会の充実を図る。	・組織的な業務改善と、教職員のやりがいの向上。 ・タイムリーな学校だより発行・ホームページ更新。	★教職員業務改善に係るアンケート「子供と向き合う時間がこれまでより増えている」肯定的評価	90%	89%	99%	2	・年度初めや研究授業が多い月の木曜日を5校時にした。 ・会議等全員が集まる時間をなるべく減らした。				

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成

■学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)

A...とても適切である B...概ね適切である
C...あまり適切でない D...全く適切